

Jargalsaikhan Jargalmaa

(産官学連携本部)

T6

研究内容を分かりやすく伝える方法論



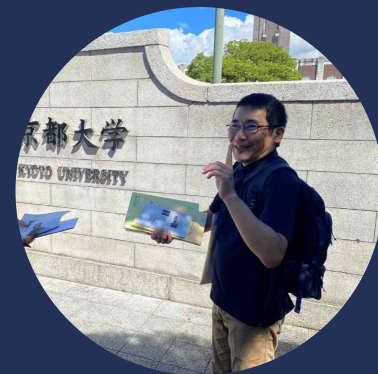
研究内容を分かりやすく伝える方法

研究活動の新たな収入源

研究者の偏愛
ぶりに触れる
ツアー

京大博士
の
「偏愛講座」

研究者の偏愛ぶりに触れる ツアー



No1. キリンが保育園で子育て？

研究者の偏愛ぶりに触れる ツアー



こうもり

No.2.聞こえない蝙蝠の「声」を聴く

※※体験できること※※

普段聞くことができないコウモリの「声」。

3つのスポットをめぐり、コウモリの声を超音波の検出器であるコウモリ探知機で聴き、コウモリが生態系で果たす役割を体感します。ウイルス学や疫学、生物工学などで有用な「コウモリ学」の発展性と有望性について語ります。

生き物が好き、理系研究の話を知りやすく聞いてみたい等自然科学に興味がある方（中学生以上）にお勧めです。

*.°. *.°. *.°. *.°. ☆*.°. *.°. *.°. *.°. ☆*.°. *.°

<体験の流れ>

①19:00 叡山電車出町柳駅きっぷ売り場に集合

・自己紹介、コース説明

②19:05 ↓徒歩で移動（5分）

③19:10 下鴨デルタ（目的地①到着）

・身近でみられるコウモリの発する超音波を聴き、暗闇を飛ぶ仕組みについて説明。

・電灯に集まる虫を食べにくるコウモリの様子を観察し、コウモリが採餌する虫の種類や量について説明。（15分程度滞在）

④19:30↓観察しながら移動

⑤19:40 下鴨神社 糺の森（目的地②到着）

・コウモリの超音波を聴き比べる。

・下鴨デルタとの環境やコウモリの密度の違いについて考える。（20分程度滞在）

⑥20:00↓観察しながら移動

⑦20:20 京大北部グラウンド（目的地③到着）

・他2地点との環境の違いについて考える。

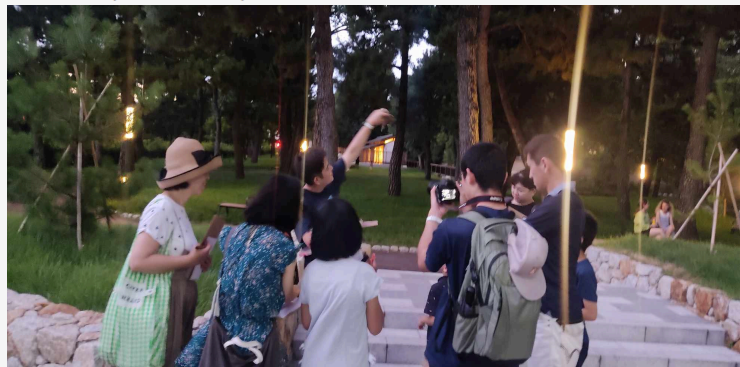
・コウモリが身近な動物であることを確認し、益獣としての側面を解説。（10分程度滞在）

⑧20:30↓京大北部グラウンドから賀茂大橋たもとに移動

⑨20:40 賀茂大橋たもとに下鴨デルタのコウモリの時間の経過による変化を確認し、主な活動時間帯について解説。（10分程度滞在）

⑩21:00・叡山電車出町柳駅付近で解散。

*.°. *.°. *.°. *.°. ☆*.°. *.°. *.°. *.°. ☆*.°. *.°



研究者の偏愛ぶりに触れる ツアー



No3.学問の歴史探求

体験できること

※※体験できること※※

京都文化・教育・産業に影響を与えた明治から大正時代の吉田～岡崎の発展、～京都大学設立から大正大典博覧会開催まで歴史をご案内します。

*.°. *.°. *.°. *.°. ☆*.°. *.°. *.°. *.°. ☆*.°. *.*

<体験の流れ>

- ①10:00 京大正門に集合自己紹介とコース説明
1897年京都帝国大学が1897年に設立
第三高等学校の博物室では穴戸一郎教授が動物学開講。
- ②10:30 楽友会館見学（休憩）
1925年京都大学工学部建築科助教授森田慶一設計。
- ③11:20 京都府立図書館
平瀬貝類博物館（現在9000点収蔵物を京大収載）
島津製作所標本部、平瀬貝類図案帖
- ④11:40 岡崎公園～平安神宮 説明！
国内大博覧会
1914年大典記念京都博覧会電灯台
- ⑤12:00 解散

岡崎公園



京大博士の「偏愛講座」全7回

人間・環境学



第1回 玄洋社・アジア主義

文学



第2回 男性が化粧をするようになった時代の到来

微生物学



第3回 微生物のエネルギー事情

教育学



第4回 中華民族に呑み込まれる少数民族のアイデンティティ

動物学



第5-①回 毒ヘビのハンティング
死の接吻に至るまで」

防災工学



第5-②回 災害を契機に私たち
はどう生きるか？

海洋生物学



第6回 カクレマノミの
ユニークな光反応

昆虫学



第7回 フンのお茶を淹れる。
事業として研究対象として

京大博士の「偏愛講座」全7回





ヤングドクター・京大博士の偏愛講座

高橋 浄久が公開したで · 7月26日 ·



京大博士の偏愛講座第1回はユンさんによる『玄洋社・アジア主義』をテーマとしたお話です。

韓国人である彼女が日本の右翼を研究し、フリーハグを通じて肌で感じたナショナリズムを語っていただきました。

京大の博士課程研究
ユンスヨン（尹粹娟）





ヤングドクター・京大博士の偏愛講座

高橋 浄久が公開したで ? · 7月26日 · 🌐



京大博士の偏愛講座第2回はヨウさんによる『男性が化粧をするようになった時代の到来』をお話しいただきました。

ジェンダー論と化粧品の傾向、高度経済成長を経てモテのメンタリティがどのように変化していったのかを語っていただきました。化粧品メーカーの研究者も参加していただき活発な議論がかわされました

飲み物付き
定員10名

ヤングドクター
第2回 京大博士の偏愛講座 *free*

文学研究科博士課程研究者
楊雅韻（ヨウガイン）



2023
7/10 Monday.



ヤングドクター・京大博士の偏愛講座

高橋 浄久が公開したで · 7月26日 ·



京大博士の偏愛講座第3回は今浦さんによる『微生物のエネルギー事情』です。馴染み深い乳酸菌やお酒だけでなく、プラスチックや一酸化炭素/ガス/金属/電気（どれでもよい）を食べる微生物なども含めるとその全体像はまだまだわからないことだらけ。微生物たちがどのようにしてエネルギー変換を行っているのか？彼らの分類、エネルギー変換効率や仕組みについて語っていただきます。我々人類は歴史的にも環境的にも微生物のお陰で存在できていると言っても過言ではない？参加者からも質問が飛び交い、準備したプレゼンが完走できないほどに会場白熱！この講座を聞けば明日からお酒が美味しくなること間違いなし？... **もっと見る**

今 農
浦 学
由 研
就 究
科
博
士
課





ヤングドクター・京大博士の偏愛講座

高橋 浄久が公開したで · 8月4日 ·



京大博士の偏愛講座第4回はボヤンさんによる『中華民族』にのみ込まれる“少数民族”のアイデンティティの発表でした。

島国でもあり言葉や文化が同じ日本人にとって自らのアイデンティティを感じにくいものですが、ボヤンさんにとってはそうではありません。

内モンゴル自治区における中国教育政策の背景や影響などを語っていただきました。

また未来へのアクションとして、ボヤンさんはSNSをつかったモンゴル語講座の開設したり、絵本を使った小学校への講演活動など、国際理解を得られる活動を継続中とのこと。（※コメント欄参照） ... **もっと見る**





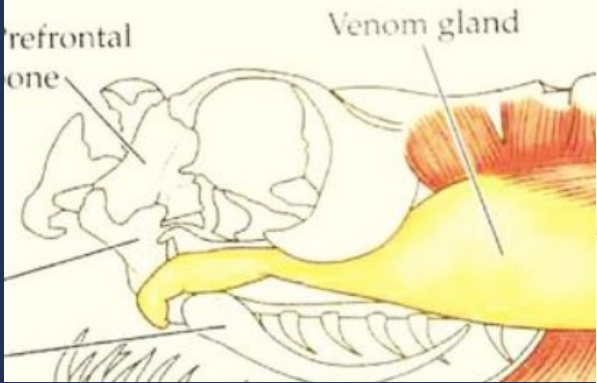
京大博士の偏愛講座、第5回は2本立てでお送りいたしました。

前半パートは児玉理知さんによる『毒ヘビのハンティング～死の接吻に至るまで～』の発表でした。

ヘビ目線で語られる捕食の苦勞話や、毒を打ち込む時の微調整、年間140日のフィールドワークと、5000時間以上に及ぶ動画の解析から見えてきたヘビの体温と採餌の関係等を語っていただきました。

後半は土田亮さんによる『災害を契機に私たちはどう生きるか?』3枚の写真を切り口に、災害大国日本とスリランカの洪水と比較しながら、私達の生活と災害との共存についてや、災害を利用するしたたかな生存戦略など、改めて考え直すきっかけを頂きました。

研究 2 | 注入毒量への温度の影響は？



Compressor

Prefrontal bone

収縮による圧力が低温ほど低下する？



Pough





ヤングドクター・京大博士の偏愛講座

高橋 浄久が公開したで · 9月13日 12:18 ·



京大博士の偏愛講座、第7回は丸岡毅さんによる『フンのお茶を淹れる。事業として、研究対象として』の発表でした。

昆虫の生態学が専門の丸岡さん。ある日、先輩から大量の毛虫の差し入れ(?)を渡されたところ、蛾の幼虫のフンの香りが良いことを発見。

日本では蚕のフンを使ったお茶の例はあるものの、文化として定着していないことに疑問を持ち、研究を重ね、ついに幼虫のフンを使った「虫秘茶」を開発。

クラファンを成功させ、パッケージ化。今では星付きのビストロで飲めるそうです。... **もっと見る**





ヤングドクター・京大博士の偏愛講座

高橋 浄久が公開したで · 9月6日 7:43 ·



京大博士の偏愛講座、第6回は山中朔人さんによる『カクレクマノミのユニークな光反応』の発表でした。

遺伝子工学と動物生理学が専門の山中さん。未だ解明されていない、クマノミの夜間孵化のメカニズムに迫ります。

近年、遺伝子工学技術の発展により、クマノミのような多様で複雑な生物（非モデル生物）の生態の解明にチャレンジできるようになったとのこと。

非モデル生物の理解が生命全体への理解へと繋がるというメッセージとともに遺伝子による光反応とクマノミの孵化の関係について発表して頂きました。... **もっと見る**



「偏愛ツアー」の工夫のポイント

ポイント① 研究者の研究テーマを彼らのフィールドで学ぶツアー

ポイント② 1回8名、研究者と1.5～2時間ウォーキング。

ポイント③ 小学生以上参加可能な内容。配布資料付き。



「偏愛ツアー」の機会と課題

【機会】

◆参加者:

- ・フィールドで質問に応えられる研究者の知識に驚き、満足できた。
- ・普段歩いている場所も学ぶことができ、非日常的な体験ができた。

◆研究者:

市民にアウトリーチできる貴重な機会。

【課題】

- ・遊んで学べる体験プラットフォームで募集したが、**集客が厳しかった。**
- ・学外ツアーには、**京大保有の展示や標本、大学施設の活用ができない。**
- ・飲食付きツアーの開催には旅行業資格の取得が必要。
- ・研究フィールドを歩くことに意味のある研究内容とのマッチング

【今後の方向性】

- ◆京大の研究活動全般に興味のあるターゲット選定

- ◆学内関係者向けのツアー企画

学生の家族
入学希望の高校生向け

「**偏愛講座**」の工夫のポイント

ポイント① 研究内容を一般の人が興味を持つコンテンツに企画

研究テーマ：「ヘビ毒の進化機構に関する研究」

偏愛講座：毒ヘビのハンティング～死の接吻に至るまで

ポイント② 研究者に分野外の聴衆に向けた発表方法のアドバイス

ポイント③ 少人数10人で双方向コミュニケーションを重視

ポイント④ 構成は研究対象の基礎的な情報+研究内容（1:1）

ステークホルダーごとに 研究内容を分かりやすく伝えるポイント

知的な好奇心が高い

◆ 社会人
◆ 経営者

- ・ 研究内容の有用性
- ・ 研究内容の意義、その可能性

- ・ 最先端の研究内容、研究情報、その周辺の話

◆ 研究者同士
◆ 卒業生

← 一般の人々

→ 学界関係者

◆ 子ども向け
◆ 市民と研究者の対話

- ・ 基礎科学の面白さ
- ・ 当研究の分野の基礎の基礎を説明する事に特化する

- ・ 研究教育生活の苦勞・楽しい話
- ・ 研究環境の魅力
- ・ 研究内容から得られた新たな発見

◆ 入学希望者
◆ 在学生のファミリー

↓ 一般知識レベル



Young
Researcher
Growth Co.,Ltd.

探求の力を育む